

G

未就学児とその保護者

[ママパパ鑑賞応援デー]

【日時】第1回 8月24日(日) 受付開始日: 6月25日(水)
 第2回 8月31日(日) 受付開始日: 7月2日(水)
 第3回 2026年2月8日(日) 受付開始日: 12月10日(水)

各日とも: ① 午前10時 - (15組) ② 午前11時 - (15組)
 【講師】当館普及スタッフ ※内容は同じ
 【定員】各日 30組
 【費用】コレクション展観覧料
 【会場】常設展示室

「美術館に行きたいけど、まだ小さい子が泣いてしまふのが心配…」 「子どもと会話しながら鑑賞したいけど、周りが気になる…」 実は、美術館はそのようなご家族も大歓迎です! 当日はご家族で楽しめるミニゲームもご用意しています。



H

幼・保・小・中・高校の先生方へ

[美術鑑賞教育に興味をお持ちの先生方へ]



美術鑑賞には対象年齢や興味・関心、学校の指導目的・内容等によって様々なかたちが考えられます。当館では学芸員による見どころ解説のほか、鑑賞ツールを使った対話型鑑賞や、オンラインによる鑑賞教育コンテンツなど、多彩なプログラムをご用意しております。ぜひお気軽にご相談ください。詳しくはHPでもご紹介しています。



[イベントのオンライン事前予約について]

各イベントは事前予約制です。開催日の60日前、午後9時よりオンラインにて受け付けます。

- ① 栃木県立美術館HP、もしくはQRコードからイベント詳細を確認し、予約申込フォームへお進みください。
- ② 開催日を選択してください。「さくら塾」のみ時間帯(午前10時 - 午後4時の間)も選択してください。
- ③ 「内容確認・予約へ進む」をクリックし、予約人数・氏名・メールアドレス・電話番号を入力し、送信してください。
- ④ 入力いただいたメールアドレスに、予約確認メールが自動送信されます。

※「美術館クイズ探検」と「夏休みワークショップ」は、受付期間内は仮予約として受け付けます。定員を超過した場合は抽選となり、当選された方のみ、受付終了日から1週間以内に予約確認メールが自動送信されます。

※B、C、D、Gについてはコレクション展観覧料(一般260円、大高生120円、中学生以下無料)が必要です。

必ずお読みください!

- ・申込完了後、「reservation@airrvs.net」から「ご予約確認メール」をお送りします。お手続き前に、メール受信設定を必ずご確認ください。
- ・同サイトにて2日前までキャンセルは可能ですが、キャンセル待ちの方のために必ずお手続きください。なお、繰り上げ参加が確定となった場合は、対象の方にその旨ご案内メールが自動配信されます。
- ・体調不良等で当日欠席される場合は、必ずお電話にてご連絡ください。(028-621-3566)
- ・各イベントの参加費は当日受付にて徴収いたします。
- ・ご予約の際入力いただいた個人情報は本件以外に使用することはありません。

さくら塾の後は美術鑑賞! 「さくら塾 x コレクション展パスポート」

さくら塾参加当日に限り、常設展示室受付にてパスを提示すると、保護者の方はコレクション展を無料でご覧いただけます。

STEP 1 さくら塾に参加し、当日コレクション展を観覧すると1ポイントもらえます。

STEP 2 5ポイント達成で美術館オリジナルグッズをプレゼント!
 ルール: カードは一家族につき1枚発行。有効期限はありません。



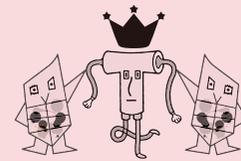
栃木県立美術館

Tochigi Prefectural Museum of Fine Arts

〒300-0043 宇都宮市桜4-2-7
 TEL. 028-621-3566
<https://www.art.pref.tochigi.lg.jp/>



EVENT



PROGRAMS

2025

各イベントは
 オンライン
 予約制です!
 詳しくは裏面、
 当館HPを見てね!

2025.4 — 2026.3

栃木県立美術館 イベント スケジュール

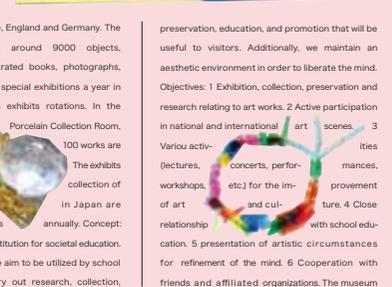


The Tochigi Prefectural Museum of Fine Arts opened in 1972 as one of the first public museums of modern and art in Japan. Kiyoshi

of Meissen porcelain in Japan are rotated about 4 times annually. Concept: The museum is an institution for societal education. At the same time, we aim to be utilized by school education. We carry out research, collection, preservation, education, and promotion that will be useful to visitors. Additionally, we maintain an aesthetic environment in order to liberate the mind. Objectives: 1 Exhibition, collection, preservation and research relating to art works. 2 Active participation in national and international art scenes. 3 Various activities (lectures, concerts, performances, workshops, etc) for the improvement of art and culture. 4 Close relationship with school to collection exhibits. In the Meissen Porcelain Collection Room, around 100 works are displayed. The exhibits from the best collection of Meissen porcelain in Japan are rotated about 4 times annually. Concept: The museum is an institution for societal education. At the same time, we aim to be utilized by school education. We carry out research, collection,



education. 5 Presentation of artistic circumstances for refinement of the mind. 6 Cooperation with friends and affiliated organizations. The Tochigi Prefectural Museum of Fine Arts opened in 1972 as one of the first public museums of modern and contemporary art in Japan. Kiyoshi KAWASAKI designed the museum architecture including the collection galleries built in 1981. The museum houses a collection of Japanese modern and contemporary artworks, primarily those with connection to Tochigi Prefecture. It is also notable for the works by famous artists of Western Europe such as France, England and Germany. The collection comprises around 9000 objects, including prints, illustrated books, photographs, and crafts. We hold 4 special exhibitions a year in addition to collection exhibits rotations. In the Meissen Porcelain Collection Room, around 100 works are displayed. The exhibits from the best collection of Meissen porcelain in Japan are rotated about 4 times annually. Concept: The museum is an institution for societal education. At the same time, we aim to be utilized by school education. We carry out research, collection,





A 幼児から大人まで 地域×学校×美術館
[アートラウンジさくら塾]
 絵画や工作を学生ボランティアさんがお手伝いします。
 原則第3日曜日(家庭の日)にあわせて実施します。
オンラインにてご希望の時間帯(午前10時～午後4時の間)を事前予約の上ご参加ください。会場はすべて本館集会室です。

《びかびかアクセサリーを作ろう》
 6月8日(日) 受付開始日:4月9日(水)
 【持ってくるもの】アクセサリーのパーツにしたいもの
 協力:作新学院高等学校美術デザイン科

《紙で表現 ～もこもこ・ふわふわ～》
 7月20日(日) 受付開始日:5月21日(水)
 協力:宇都宮大学共同教育学部

《シルエット・ドローイング》
 8月17日(日) 受付開始日:6月18日(水)
 協力:作新学院高等学校美術デザイン科

《スマホでコマ撮りアニメを作ろう》
 11月9日(日) 受付開始日:9月10日(水)
 【持ってくるもの】撮影に使う人形や小物、各自スマートフォンにストップモーション用無料アプリ「Stop Motion Studio」をダウンロードしてきてください。
 協力:作新学院高等学校美術デザイン科

《いろいろ貼り絵》
 12月14日(日) 受付開始日:10月15日(水)
 協力:作新学院大学女子短期大学部

《石膏(せっこう)を使って反転レリーフを作ろう》
 2026年1月18日(日) 受付開始日:11月19日(水)
 【持ってくるもの】牛乳パック1個 空き箱 手拭き用ハンカチまたはタオル
 協力:文星芸術大学

《ファンタスティック☆プラスチック -My エコビーズ宝箱-》
 2026年2月22日(日) 受付開始日:12月24日(水)
 【持ってくるもの】あればペットボトルの空き容器(大きき自由)
 協力:國學院大學栃木短期大学

【費用】制作する方一人につき300円(補助程度の保護者は無料)
 当日に限り、保護者の方もコレクション展を無料でご覧になれます。
 ※汚れてもよい服装でご参加ください。
 ※都合により会場が変わることがあります。
 ※詳細は当館 HP にてご確認ください。

[ワークショップ監修者]
 鈴木 武雄(作新学院高等学校 美術デザイン科 非常勤講師)
 名取 初穂(國學院大學栃木短期大学 教授)
 花田 千絵(作新学院大学女子短期大学部 教授)
 本田 悟郎(宇都宮大学 共同教育学部美術分野 准教授)
 吉田 利雄(文星芸術大学 立体分野 教授)

B 小学生とその保護者
[美術館ふしぎ発見!]
 【日時】5月6日(火・祝) 午後2時～(90分程度)
 受付開始日:3月7日(金)
 【講師】当館普及スタッフ
 【定員】10組(先着順)
 【対象】小学生とその保護者
 【費用】コレクション展観覧料
 【会場】常設展示室
 ※常設展示室受付に集合してください。

【内容】展示室の作品だけを見ているアナタは損しているかも? 美術館は屋外彫刻も建物も、見どころ、フシギがいっぱい! スタッフと一緒に、美術館のヒミツをさぐりながら探検しましょう!

C 小・中学生
[美術館クイズ探検]
 夏休みこども企画
 【日時】8月3日(日) 午後2時～(70分程度)
 受付期間:6月4日(水)～6月18日(水)
 【講師】当館普及スタッフ
 【定員】10組(申込多数の場合抽選)
 【対象】小・中学生(小学生は保護者同伴)
 【費用】コレクション展観覧料
 【会場】常設展示室
 【内容】作品にまつわるクイズを解きながら、コレクション展を楽しく鑑賞しましょう!
 はたして、どれだけのクイズが解けるかな?

D 小学生とその保護者
[親子のための美術鑑賞教室]
 【日時】①11月23日(日・祝) 受付開始日:9月24日(水)
 ②2026年2月15日(日) 受付開始日:12月17日(水) 午後2時～(各日とも90分程度。内容は異なります)
 【講師】当館普及スタッフ
 【定員】各日10組(先着順)
 【対象】小学生とその保護者
 【費用】コレクション展観覧料
 【会場】常設展示室+本館集会室
 ※常設展示室受付に集合してください。
 【内容】コレクション展を学芸員と一緒に鑑賞した後、作品にちなんだミニワークショップを親子で体験します。

E 小・中学生 夏休みワークショップ
[大谷石を使って、幻想生物の化石標本をつくろう!]
 【日時】7月27日(日) 午前10時～午後4時
 受付期間:5月28日(水)～6月11日(水)
 【講師】佐野 藍(彫刻家)
 【定員】親子10組(申込多数の場合抽選)
 【対象】小・中学生と保護者
 【費用】1組2,500円(材料費込)
 【会場】本館集会室
 【持ってくるもの】昼食、汚れてもよい服装、マスク、軍手
 【内容】宇都宮市大谷でしか採掘できない大谷石を、割って・削って・色を塗って、オリジナルの幻想生物の化石標本を作りましょう!

【講師プロフィール】
 2016年東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。石彫作品《サクラオオカミ》が東京藝術大学大学美術館に収蔵される。大理石の質感や質量の持つ存在感を用いてドラゴン・幻獣、人間同士の持ち合わせる精神世界等、目に見えないものを結実させる。また、大理石のポテンシャルである色・柄・質感で徹底的に遊ぶ様に展開しているPythonシリーズではプリミティブな美を追求し続けている。

F 高校生以上 大人の図工室
[伝統と革新 岩絵具のいまを知る!]
 【日時】11月16日(日) 午前10時～午後3時30分
 受付開始日:9月17日(水)
 【講師】菊地武彦(画家・多摩美術大学教授)
 【定員】16名(先着順)
 【対象】高校生以上
 【費用】2,500円(材料費込)
 【会場】本館集会室
 【持ってくるもの】昼食、汚れてもよい服装。普段使っている筆や下絵も持参可能。
 【内容】独特の輝きとサステナブルな観点から注目されている、金属を原料とした新しい岩絵具。樹脂から生まれた膠(にかわ)と水彩絵具とを併用して描くことで、岩絵具の「いま」を体験しましょう!

【講師プロフィール】
 栃木県足利市生まれ。1984年多摩美術大学大学院美術研究科絵画専攻修了。1990年頃から《線(の)気韻》シリーズの制作を始め、以降《土の記憶》《線(の)形象》シリーズなどを手がける。作品制作と併行して、金属や樹脂などを素材に転用する研究を精力的に行う。

菊地武彦《噴水線 2024-7》2024年 個人蔵